

この人間には心がない――

監督 森田芳光

原作 貴志祐介

第1回日本ホラー小説大賞大賞受賞作
『黒い家』(角川ホラー文庫刊)

黒い家

製作総指揮 角川歴彦 大谷信義
エグゼクティブプロデューサー 原正人
製作 『黒い家』製作委員会
製作プロダクション アスミック・エース エンタテインメント
主題歌 『Chronopsychology』 m-flo (rhythm zone)
配給 松竹株式会社

内野聖陽

西村雅彦

田中美里

町田康

桂憲一

小林薫

伊藤克信

菅原大吉

佐藤恒治

小林トシ江

友里千賀子

鷺尾真知子

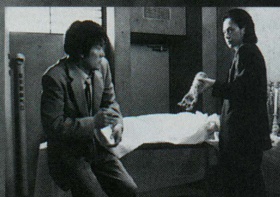
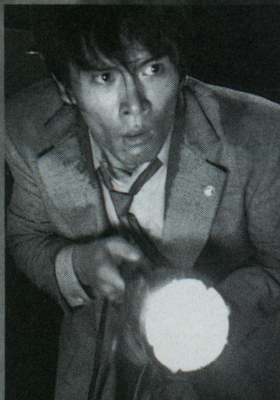
石橋蓮司

大竹しのぶ

世紀末、恐怖はあなたの間近に迫っている…!!

INTRODUCTION

情報が交錯し、ものに取り憑かれたこの時代に、心を荒廃させて
“何か”に変貌した存在が確かにある…
そして、心がない“何か”は突然に牙をむいて襲いかかってくる!



こうした日常に潜む恐怖世界を描き続けてベストセラーを連発し、日本のホラー小説に新風を吹き込んでいる貴志祐介は、現在、映画界から熱い注目を浴びている。その彼の最高傑作の呼び声が高い、97年日本ホラー小説大賞受賞作で、発売以来70万部を超えるベストセラー「黒い家」(角川ホラー文庫刊)が遂に映画化される。

平凡な保険会社の社員・若槻慎二がたまたま取った一本の電話。いつもの会社での習慣から、彼は血も凍る恐怖世界に引きずり込まれる。家が、職場が、自分の住んでいる世界がじわじわと“何か”に侵略される怖さ。誰にでも起きかねないこのリアリティをはらんだストーリーに挑むのは、「失楽園」『39 刑法第三十九条』で社会現象を巻き起こした森田芳光監督。時代の感性を先取りした作品を撮り続けてきた才人が、今回は深遠なる心の闇の世界に挑戦する。

脚本は前作『39 刑法第三十九条』で森田監督とコンビを組んだ大森寿美男。原作のエッセンスを汲みながら、あたらしい幕切れを用意してくれる。この脚本をもとに、森田監督は、綿密な計算と伏線をめぐるしながら、練りに練った演出を披露している。

出演者も異色の顔ぶれが並ぶ。『(ハル)』で清々しい演技をみせた内野聖陽、『鉄道員(ぽっぽや)』での熱演が光った大竹しのぶに加え、『ラヂオの時間』などコミカルな演技で人気を博した西村雅彦がシリアスな演技で不気味な役柄に挑戦。さらに田中美里、石橋蓮司、小林薫らが脇を固める。

思わず「この人間には心がない」と叫びたくなる。背筋も凍る、傑作サイコ・サスペンス・ホラーが、この秋、日本中を震撼させる!!

CAST

内野聖陽

西村雅彦

田中美里

町田 康/桂 憲一

小林 薫

伊藤克信/菅原大吉/佐藤恒治/小林トシ江

友里千賀子/鷲尾真知子

石橋蓮司

大竹しのぶ

STAFF

製作総指揮:角川歴彦 大谷信義

エグゼクティブ・プロデューサー:原正人

監督:森田芳光

原作:貴志祐介(角川ホラー文庫刊)

脚本:大森寿美男

プロデューサー:榎植靖司 三沢和子 山本 勉

撮影:北 信康/照明:渡辺三雄/美術:山崎秀満/編集:田中慎二/録音:柿澤 潔/助監督:杉山泰一/製作担当:望月政雄 橋本 靖

音楽プロデューサー:浅沼 一郎/音楽:山崎哲雄

主題歌:「chronopsychology」 m-flo (rhythm zone)

製作:「黒い家」製作委員会/製作プロダクション:アスミック・エース エンタテインメント/配給:松竹

<http://www.shochiku.co.jp/kuroiie/>



12月18日(土)より 新春ロードショー!!

地下鉄動物園前⑤出口・フェスティバルゲート7F

動物園前 シネフェスタ4

☎06(6647)7188

各回入替制 | 10:40 | 2:45 | 6:40



11月18日(土)より松竹映画でロードショー!!